

お問い合わせ
独立行政法人
日本学術振興会(JSPS)
研究事業部研究助成第三課研究成果公開促進費係
TEL:03-3263-1699
<https://www.jsps.go.jp/j-hirameki/>

科研費
KAKENHI

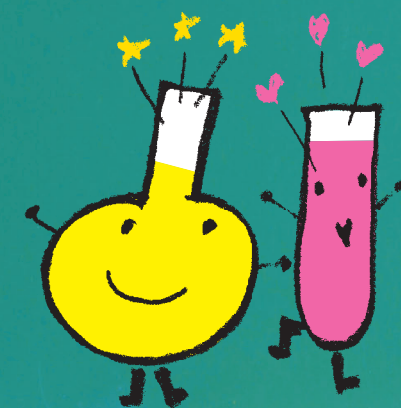
令和6(2024)年度 科研費の成果を体感する

小中学生・高校生向けプログラム

ひらめき★
ときめき
サイエンス

～ようこそ大学の研究室へ～

KAKENHI



JSPS 日本学術振興会

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE



ひらめき☆ときめきサイエンス

いま、大学や研究機関で取り組まれている科研費による研究を、小学校5・6年生、中学生、高校生の皆さんに分かりやすく発信するそんな取り組みとして始まった、「ひらめき☆ときめきサイエンス」。

暮らしや社会を豊かにするための研究、
地球や宇宙、生命の仕組みを知るための研究、
新しいエネルギーや物づくりを支える研究…。

これからも、そんな研究を学び、体験するプログラムとして
皆さんの夢を広げるお手伝いを続けていきます。



科研費と研究の関わり

科研費
(科学研究費助成事業)
国のお金をもとにした
研究者の自由な研究を支える
競争的研究費制度

**大学
研究機関**
科研費の助成を受けた
研究者個人の独創的・先駆的な
「学術研究」

**ひらめき☆ときめき
サイエンス**
科研費から生まれた
最先端の研究成果を皆さんに
直に伝える取組

● 研究者の養成



▲博士課程の学生や若手研究者に対する経済支援「特別研究員」

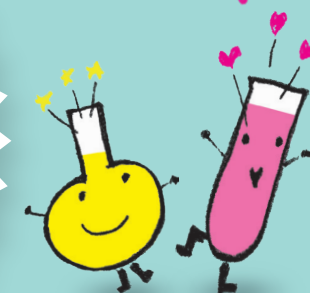


▲優秀な博士課程学生を顕彰する「育志賞」

大学院の博士課程で学ぶ学生や博士課程を修了した若手研究者が大学や研究機関で研究に専念できるように、研究奨励金を支給しています。また、優秀な博士課程の学生を顕彰するなど、研究者を育てるための取り組みも行っています。

研究者
(大学、研究機関、
企業で活躍)

若い研究者の卵をサポートすることが大切なんだね。



● 研究活動のサポート

科研費に関連したさまざまな取り組みをはじめ、世界トップレベルの研究拠点を形成するプログラムや課題設定による先導的人文学・社会科学研究を推進する事業を行っています。

科学研究費助成事業(科研費)って何？

What is KAKENHI ?

科学研究費助成事業(科研費)とは、大学や研究機関の研究者の自由な発想で取り組まれている研究を、研究費の面からサポートしている制度です。実際に研究を行っている研究者が審査員となって毎年、約10万件もの応募の中から、3万件ほどの研究が選ばれています。令和6(2024)年度の予算額は約2,450億円※になり、人文学、社会科学から自然科学まですべての分野で研究活動を支援しています。※令和6年度当初予算額に基づく

科研費の成果を知るには

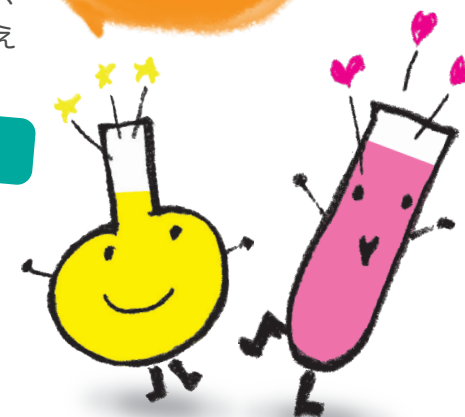
科研費で取り組まれている研究については、科学研究費助成事業データベース(<http://kaken.nii.ac.jp/>)で調べる事もできます。詳しくはホームページをご覧ください。

日本学術振興会 科研費ホームページ

Q 科研費 検索

科研費の成果として世の中を大きく変えた研究もたくさん生まれてるんだって。

研究者の自由な発想に基づく研究を支援することが大切なんだね。



日本学術振興会(JSPS)って何？

What is JSPS ?

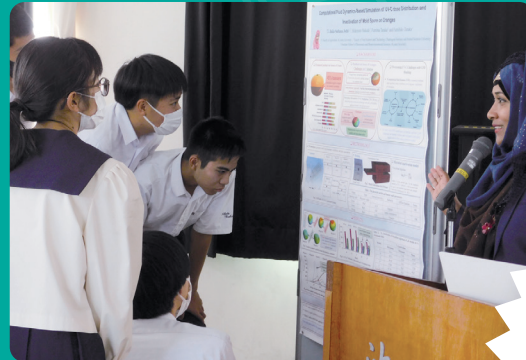
世界レベルの多様な知の創造、次世代の研究者を育てるためのさまざまな取り組みや海外の研究者との交流の機会づくり、よりよい大学をつくるためのサポートなどを行う機関です。

● 研究者との交流の場を提供

「ひらめき☆ときめきサイエンス」による大学や研究機関での体験プログラムをはじめ、世界各国の研究者を招待して行う高校生との交流プログラムなど、研究者との交流を積極的に推進しています。



▲科研費の成果をわかりやすく体験
「ひらめき☆ときめきサイエンス」



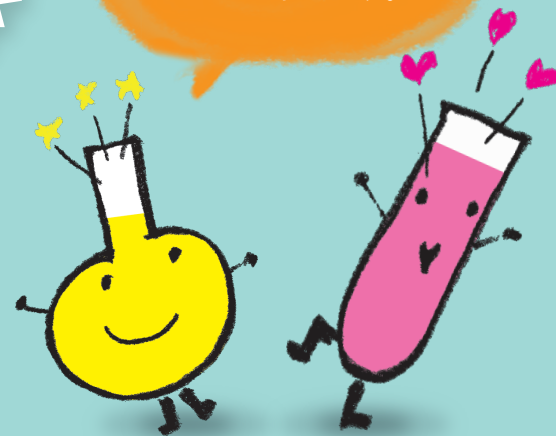
▲外国人研究者による研究や母国の文化についての講義
「サイエンス・ダイアログ」

大学院生
(若手研究者)

大学生

小・中学生
高校生

研究を支えたり、
研究する人を育てたり。
日本学術振興会の役割って、
いろいろあるんだね。



未来を担う小中学生、高校生の皆さんに、ぜひ参加してほしいプログラムです。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」は、科研費の事業の一環として、全国の国公立大学、大学共同利用機関や高等専門学校等の研究機関が開催しています。研究者が科研費による研究について、その中に含まれる科学の興味深さや面白さを、我が国の未来を担う小中学生、高校生の皆さんに分かりやすい形で直に伝え、科学的好奇心を直に刺激して“ひらめき”、“ときめく”心の豊かさと知的創造性を育んでもらうプログラムです。平成17年度から事業を行い、令和5(2023)年度には、「ひら☆とき」事業開始以来の参加者が、累計で8万5千人を超えました。一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしております。



今年度(令和6(2024)年度)の実施プログラムの
詳しい情報は、ホームページをご確認ください。
こちらから参加申し込みもできます。

ひらめき☆ときめき サイエンス実施プログラム一覧

Q ひら☆とき 検索

※実施機関(大学や研究機関)に直接申し込むプログラムもあります。
実施プログラム一覧ページで申し込み方法をご確認ください。

近くの大学でも
やってるから、
お父さんやお母さんに
相談してみようよ。

科学の楽しさ、
面白さ、素晴らしさを
感じ取ろう。



「ひらめき☆ときめき サイエンス」は、科研費が、どんな成果を生み出そうとしているのかを皆さんに知ってもらうために、大学や研究機関が開催しています。

最先端の研究成果を
実際に見て、体験できる
チャンスだね。



科研費が
どう役立っているか、
大学や研究機関で
確かめられるんだね。

ひらめき ときめき サイエンス

科研費が支える先駆的な研究 その成果を体感するプログラム

令和6(2024)年度も、児童生徒が全国各地の大学などの研究室を訪問し、実験やフィールドワークなどを実際に体験することで、最先端の研究成果を直に見て・聞き・触れることができる訪問体験型プログラムが多数用意されています。

昨年度(令和5(2023)年度) 実施プログラム例

工学・物理



高校生向け

光トランシーバを作ろう！ 光無線と光ファイバ通信

山形大学
(高野 勝美 大学院理工学研究科・教授)

自分で作った光送信器と受信器で情報を通信する実験を行い、現代社会を支える光無線通信と光ファイバ通信の方法やしぐみについて学習しました。

工学・生活



高校生向け

サイボーグを作ろう ～世界最先端 人と機械の融合マシン技術～ シーズンXI

横浜国立大学
(加藤 龍 大学院工学研究院・准教授)

身体に装着して動かす筋電義手の製作・操作を通して、工学研究の成果が生活の中の医療・福祉に現実化されるプロセスを体感しました。

医歯薬学・化学



高校生向け

薬が効く仕組みを学ぼう！ ～身近な植物の成分が薬になる「ひみつ」～

富山大学
(加藤 敦 学術研究部薬学・和漢系・教授)

植物から薬の成分を検出する手法を学び、身体の働きと病気との関連性を考えることで、身近な植物の成分で病気が治せる不思議さや「薬の開発」の魅力を実感しました。

医歯薬学・生物



小学5・6年生向け

中学生向け

失われた機能を再生させる -再生医療とは何だろう？

愛知医科大学
(武内 恒成 医学部・教授)

生物の脳・神経組織をモデルに観察や実習を行い、再生医療の最先端の研究情報や神経研究の面白さを学びました。

歴史・化学



小学5・6年生向け

中学生向け

高校生向け

考古学のなかの科学 ～同位体分析を学び、歴史・文化を読み解こう～

広島大学
(石丸 恵利子 総合博物館・研究員)

「同位体分析」に着目し、土器・遺跡・標本の観察や分析を体験することで、歴史学と科学のつながりや魅力を体験しました。

医歯薬学・生物



中学生向け

がんとはどんな病気？ がん細胞の中で起きていることをみてみよう！

森ノ宮医療大学
(森 誠司 医療技術学部・教授)

がん細胞と正常細胞のかたちの違いを顕微鏡で観察し、その差は遺伝子やタンパク質の違いによることを実験を通して学びました。

工学・その他



高校生向け

次世代音声インタフェース読唇技術の先取り

九州工業大学
(齊藤 剛史 大学院情報工学研究院・教授)

「読唇技術」をテーマに、コミュニケーションを支援するアプリ・機器の操作体験やパズルへの取り組みなどを通して、次世代音声インタフェース研究の最先端に触れました。